審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	令和6年度第1回松阪市総合計画審議会
2. 開 催 日 時	令和6年6月17日(月) 13時30分~15時30分
3. 開 催 場 所	松阪市産業振興センター 3階研修ホール
4. 出席者氏名	<p>出席委員 岩崎恭典委員、福田哲也委員、大西秀明委員、平岡直人委員、中森弘幸委員、北岡巖委員、山本清己委員、水谷晴夫委員、西川弘純委員、岡本孝雄委員、伊藤暁広委員、水谷勝美委員、谷雄介委員、庄山徹委員、笠木千夏委員、木本英伸委員、富保孝之委員</p> <p>事務局 藤木企画振興部長、川上経営企画課長、小川経営企画課経営企画担当主幹、西山経営企画課政策経営係長、中島経営企画課政策経営係主任、長井経営企画課係員</p>
5. 公開及び非公開	公 開
6. 傍 聴 者 数	0人(内、報道関係0社)
7. 担 当	松阪市企画振興部 経営企画課 TEL 0598-53-4319 FAX 0598-22-1377 e-mail kei.div@city.matsusaka.mie.jp

◎会議要旨は別添

令和6年度 第1回松阪市総合計画審議会 要旨

開催日時：令和6年6月17日（月） 13時30分～15時30分

開催場所：松阪市産業振興センター 3階研修ホール

出席委員：岩崎恭典委員、福田哲也委員、大西秀明委員、平岡直人委員、中森弘幸委員、北岡巖委員、山本清己委員、水谷晴夫委員、西川弘純委員、岡本孝雄委員、伊藤暁広委員、水谷勝美委員、谷雄介委員、庄山徹委員、笠木千夏委員、木本英伸委員、富保孝之委員

事務局：藤木企画振興部長、川上経営企画課長、小川経営企画課経営企画担当主幹、西山経営企画課政策経営係長、中島経営企画課政策経営係主任、長井経営企画課係員

傍聴者：0人（内、報道関係0社）

1. 委嘱状の交付
2. 委員自己紹介
3. 松阪市総合計画審議会条例について
4. 会長、副会長の選出
会長 岩崎恭典委員 副会長 水谷勝美委員
5. 諮問
6. 松阪市総合計画（案）について
資料3：松阪市総合計画策定スケジュール
資料4：松阪市総合計画（骨子案）

◇ 地方創生総合戦略の基本的な方向性の記載が抽象的である。「魅力的な地域をつくる」についてはどのようなことを考えているのか。

事務局)

国の総合戦略で示された方向性のひとつに「魅力的な地域をつくる」というものがあります。松阪市においては、国の方向性に沿って、前地方創生総合戦略との継続性も加味しながら、「Ⅰ 定住促進」「Ⅱ 少子化対策」「Ⅲ 雇用創出」「Ⅳ 地域づくり」の4つの分野での取り組みを行います。もう少し具体的な内容については中間案にてお示しをさせていただきます。

◇ 人口減少とともに医療資源も減少していく。医療に対する需要と供給のバランスが

とりづらい時代にこれから更になっていく。例えばこの地域の小児科医は高齢化しており医者不足が深刻化している。松阪の医療をこの地域だけで解決するのではなく、例えばもう少し広い地域での連携、県内の近隣地域と協力するということも必要になってきている。こうしたことを計画に入れていく必要もあるのではないか。

◇ 市民意識調査結果報告書で、回答者の年代別で言うと 60 歳以上の方で過半数を占めている。しかし子育て世代など、年代によって「幸せ」の基準も違うと思うがどう考えているか。

事務局)

年代別で「幸せだと感じる」というものを出させていただいています。10 歳代が一番多く、概ね年代が上がるごとにゆるやかに減少する傾向がみられます。骨子案においては全年代トータルの結果を掲載させていただいておりますが、中身をみていくとこのような分析ができます。こうした状況も加味しながら考えさせていただいています。

◇ 市民意識調査の結果で、「幸せを感じる」というのが結構多いと感じるが、他の地域と比較した場合はどうか。例えば他自治体と比較してみると客観的に現在の状況が把握できるのではないか。

事務局)

他市比較すると面白いと思います。経年変化については掲載をさせていただいております。

◇ 市民意識調査にシビックプライドのことが掲載されているが、観光政策は、市民のシビックプライドなどの気持ちが案外左右するのではないかと考える。江戸時代のおかげ参りなどはそれにあたり、その頃は非常に多くの情報がこの地域にもたらされた。どのようなところに誇りを持っているかというところで、比較的若い方が「食事がおいしい」「祭りなど伝統文化がある」と答えているのは嬉しい結果と思う。

◇ DX については、実際はかなり進められているとは思いますが、ひかえめな書きぶりになっていると感じる。サービスを良くしたり、仕事のやり方を変えていくという部分もあるので、もう一段高めのところから記述をしていただければどうか。また DX 関係の言葉は変わってきている部分もあるので、言葉遣いの統一化もご留意いただけたらと思う。

≪15 時 30 分 終了≫